

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	広報広聴特別委員会		会議場所 第3委員会室 担当職員 三宅・池永
日 時	平成24年7月5日(木曜日)		開 議 午前10時 00分
			閉 議 午前11時 25分
出席委員	菱田 福井 苗村 山本 明田 石野 (西村委員、木曾議長欠席)		
事務局出席者	今西局長、藤村次長、阿久根係長、三宅、池永		
傍聴者	市民 1名	報道関係者	- 名

## 会 議 の 概 要

10:00

### 1 開議

- 菱田委員長あいさつ -

### 2 議事

(1) 議会だより 153(6月定例会号)の掲載事項について

(ア) 文章及びレイアウトの確認

(イ) 写真の確認(まだのものは次回までに)

<福井副委員長>

今回の委員会でゲラ版の確認を行うので、今回はレイアウト構成、見出し、記事に主眼をおき、議会だよりとして意図、発信すべきことの観点で内容の確認を願う。

[ P 1 ]

<福井副委員長>

トップ写真は東別院小学校のプール授業として、山本委員に担当いただいた。学校を通じて保護者にも了解を得た写真である。目次については、前回から目次というよりもトップ見出しとして、主なものをピックアップしている。また、「暑中お見舞い申し上げます」「議会ランキング全国10位」を掲載内容に追加した。

<山本委員>

前回から市章が入っていないが、入れるべきではと市民から意見を聞いた。府下各市の議会だよりでは、どこも載せている。取り扱いについて議論すべき。また写真は事務局と撮影に行ったが、授業中であり難しかった。子どもの笑顔のアップの写真もあり候補写真を学校に持って行って確認をお願いしたが、保護者からそれは困るとのことであった。地域とは違い学校ではそういう面で厳しいことを実感した。

<福井副委員長>

前回の老人会と子ども会の写真のようにはいかないことは予想でき、難しい面がある。市章についてはどう取り扱うか。

<石野委員>

前回から「かめおか」の字をやわらかくしている。どこに配置するか難しい。

<苗村委員>

デザインの的には難しいが市章は入れるべきと考える。

<明田委員>

かめまるよりも市章のほうが大切である。

<福井副委員長>

前回、デザインの変更に伴って消えたものである。「かめおか」のイメージを損なわないように市章は入れる方向で印刷業者と調整したい。トップ見出し(目次)についてはどうか。<了>

[ P 2 ]

<福井副委員長>

6月定例会の総括としてのページである。大見出しの表現など、内容について意見を。

<苗村委員>

写真Bと文章の配置はどうなるのか。

<福井副委員長>

透かしのイメージである。次回の委員会でゲラ版により確認願いたい。

<石野委員>

大見出し「歩行者優先のまちづくりへ」の「優先」に引っかかる感がするが。

<福井副委員長>

車を排除するようなイメージになるということと思われる。それならば「歩行者の安全を守る」などとしてみればどうか。ただし大見出しであるので、極端なほうがインパクトがありわかりやすい。他に提案はないか。

<事務局>

「歩行者にやさしい」としてみればどうか。

<福井副委員長>

よいと考えるが、議会としては補正予算を組んでどういうまちづくりの方向性になっているかということを示すべきで、それを緩めてしまう感もする。

<山本委員>

トップページの見出しにもあるとおり、「安全を守る」としてみればどうか。

<明田委員>

深く意味を推測するのではなく、特に今回は、事故を受けて補正予算を組んで歩行者の優先を貫くという意味合いである。このままでよい。

<事務局次長>

通学路緊急整備の補正予算であるので、山本委員の意見にもあったとおり、トップページの見出し「子どもたちの通学の安全を守るには」をそのまま入れてみてはどうか。

<福井副委員長>

4～5ページにそれを特集として組んで、大見出しとしているので、そのページとの差を意図している。2ページでは子どもというよりも歩道整備、4～5ページでは子どもの通学安全としてポイントを絞っている。2ページでは範囲を広くしたことを表現したいと考えている。意図するところを理解願いたい。見出しの表現は次回まで保留したい。他の掲載記事についてはどうか。<了>

[ P 3 ]

<福井副委員長>

今回は議決結果が少ないため、採決時の写真などを配置した。前回の委員会では井上耕作議員の問責決議についてはしっかり載せるべきとの意見があり、全文を掲載した。確認を願う。また、問責決議をした後のことについてどうなっているのかという意見が多々あるところであり、一番下のところに、結果ではないが事実として

あったことを記載している。

< 苗村委員 >

「全員賛成」という言葉が入っているが、上の議決結果のところ「すべての議案が全員賛成で可決されました」と入っている。繰り返して入れる必要はあるのか。

< 福井副委員長 >

問責決議をしっかりと載せるべきとの方向性が前回の委員会で示されたことは、全員賛成で議決したことを意思表示することであると受け止めた。あえて強調すべきとして入れたものである。どのように取り扱うかよく議論すべきと考える。

< 苗村委員 >

強調すべきという意図であるなら理解するが、「全員賛成」が重なっていることに気がついたものである。

< 菱田委員長 >

議決結果の部分は今回賛否が分かれたものがなかったという意味で入れたもの。問責決議のところは全議員が同じ思いで可決したことを示すものである。

< 明田委員 >

この件に振り回されることに嫌悪感がする。全員が同じ思いであるとして、これでよい。

< 福井副委員長 >

そのとおり取り扱う。ただし「全員賛成」が繰り返しあることについては、できるだけ整理したい。 < 了 >

[ P 4 ~ 5 ]

< 福井副委員長 >

カラーのメインページであるので、今回は「子どもたちの通学安全をどう守るか」という見出しの中で、議会の取り組み、市の対応などについて、写真を多用して構成したものである。議会報告会の掲載については、事故を受けたので報告会を実施したのではなく、報告会の中で事故に関しての意見があったという視点で、合わせて掲載するものである。写真については通学路の工事現場を中心としているが、7月20日に常任委員会で現地視察をする予定であり、できれば写真を差し替えたいと考えている。

< 山本委員 >

4ページのイラストにはどのようなものを配置するか。

< 福井副委員長 >

登校旗やベストなど配備されたものを考えている。

< 苗村委員 >

府道王子並河線の改良箇所について、どのように改善されたのかわからない。具体的に改善点をキャプションで説明する必要がある。写真を多用するのもよいが、代表的な写真を出して説明する方がよいのでは。

< 福井副委員長 >

施工前と施工後の写真であれば一番わかりやすいが。1～2行のキャプションで説明することとしたいがどうか。 < 了 >

[ P 6 ~ 7 ]

< 福井副委員長 >

産業建設常任委員会の掲載内容は前のページと重なる部分もあるが、写真については、モノクロであってもできるだけわかりやすいものを配置したい。行政視察レポートを今回初めての試みで各委員長の所感を掲載する。3つの委員会が同じような

写真であるので、写真N（産業建設常任委員会）は差し替えたいと考える。

< 明田委員 >

各委員長の文章中「行政視察」と「視察調査」とが混在している。また「視察研修」ということもある。整理すべきと考えるがどうか。

< 事務局長 >

視察とは委員会活動における所管事項の事務事業調査、審議などの一環であるので、「視察調査」と統一するほうがよいのでは。

< 福井副委員長 >

「視察調査」に統一したい。 < 了 >

< 苗村委員 >

視察報告書が閲覧できる旨を付記すべき。 < 了 >

[ P 8 ~ 9 ]

< 福井副委員長 >

一般質問について修正箇所があれば本日 4 時までには報告を願う。

< 苗村委員 >

各議員に原稿の確認は行っているのか。

< 事務局 >

事務局で理事者答弁などをチェックし修正したものについては、各議員に確認を行っている。

< 福井副委員長 >

代表質問の写真にはキャプションを入れるが、個人質問はどう取り扱うか。

< 事務局 >

今回、個人質問で関連写真の掲載希望はない。

< 山本委員 >

日高議員の原稿ではタイトルそのものが質問となっており、質問としての文章がないがそれでもよいのか。

< 福井副委員長 >

一定のルールの中で執筆依頼をしているが、これは問題ないものと取り扱うことでよいか。 < 了 >

< 苗村委員 >

湊議員のタイトル「北陸新幹線誘致」「危機管理」はこれでよいのか。

< 福井副委員長 >

委員会として指摘するのか、本人の責に帰すものとして取り扱うのか。

< 苗村委員 >

本人の責に帰すものであっても、議会の広報誌であるので、議会全体のレベルが問われるものである。「～について」の見出し付けをやめるようにしたことからも、委員会として指摘すべき。

< 福井副委員長 >

一般質問の掲載について、各議員に文責があるとしている以上、お願いをするしかなく、それ以上のことはできない。今後の課題と思っているが、当委員会が一般質問の内容を抽出し、議員名も出さずに、こういう質問があり、こういう答弁があり、議会はこのように動いているという手法にするならば、当委員会で主体的に取り組み、議会のレベルとして示すことができる。

< 明田委員 >

極端なことを言えば当委員会に発行権限があるので、指摘すべきことは指摘し、そ

れを受け入れるべき。

<福井副委員長>

私からお願いすることとする。

[ P 1 4 ~ 1 5 ]

<福井副委員長>

特別委員会の活動報告について、公社の調査特別委員会のほか、今回は公共交通対策、上桂川対策特別委員会からの報告を掲載する。保津川かわまちづくりで進めている桂川流域の利活用イメージ図をあわせて掲載したいことから、より見やすいものがないか担当課と調整している。また、各委員長からの報告であることから、文章の最後には委員長名を掲載する。 <了>

[ P 1 6 ]

<福井副委員長>

議員研修については予定であり、決定されれば掲載したい。亀岡小学校の8F見学についても掲載したい。また、タイトルの字について議長によるものをどこかに付記してはと考えるがどうか。 <了>

( 2 ) 市民の声 ( 議会報告会に参加して ) の取り扱いについて

( 3 ) 次回の編集日程

・ 7月19日 ( 木 ) 午前10時 ( ゲラ版での確認 )

<福井副委員長>

「議会報告会に参加して」の取り扱いを考えたい。「本会議を傍聴して」は会派で依頼しているが、議会報告会参加者にも感想を書いてもらうよう依頼する場合、どのように取り扱うべきか。ご意見を。

<明田委員>

地元議員はその地域の会場に出席しない運用をとっている中では、地元議員に依頼するのは難しい。

<福井副委員長>

難しい面が多い。次回までの検討課題とする。 <了>

~ 1 1 : 1 5

( 4 ) 議会報告会について

( ア ) 回覧チラシについて

<菱田委員長>

今までこのチラシを作成していた井上議員に、事務局にあるデータを訂正して使うことで良いと了承を得た。これで良いか。 <了>

( イ ) 開催要項・会場責任者について

<菱田委員長>

P 1 は従来通りである。P 2 当日の次第は、3常任委員会の報告を各5分とし、公社の土地処理に関する調査特別委員会を4分としている。これで良いか。 <了>

P 3 会場分担表は、井上議員が今回抜けるので、馬場議員に移動していただいた。これをお願いしたい。では会場責任者を決める。

- 協議 -

東別院町は石野委員、南つつじヶ丘は山本委員、旭町は明田委員にお願いする。鍵の貸し借りやマイクの確認をお願いする。また8月1日の全戸配布に間に合うよう

にチラシを自治会へ持参願う。

(ウ) 資料について

< 菱田委員長 >

従前通りとしている。これで良いか。 < 了 >

本日は添付していないが、アンケートもお願いすることとなる。その他、何かあるか。

< 福井副委員長 >

報告会は、いつ一巡するのか。

< 事務局 >

1 2 月定例会報告分、2 月位に報告会を行う分で一巡である。

< 福井副委員長 >

一巡を見越し、今までの良かった点、悪かった点を踏まえて、こういう形でやればどうかという意見を、皆に紙で提出いただいてはどうか。提案である。

< 菱田委員長 >

対象は。

< 福井副委員長 >

全議員でどうか。アンケートのような形で。

< 菱田委員長 >

地元議員を入れるべきという意見や、地域を集約してはどうかという意見も出ている。そのようなことを踏まえ、全議員を対象に簡単なアンケートをとり、それをベースに委員会で整理するという提案があったがどうか。 < 了 >

ではアンケートの素案を作り、次回もしくはその次の委員会で出す。3 月定例会以降の報告会がどのようなスタンスが良いのか、時間をかけてじっくりと考えていくためにアンケートを取ることとする。

< 苗村委員 >

今度の全協では打ち合わせを行うのか。

< 菱田委員長 >

次の7月の全協で、会場別に分かれ従来通り打ち合わせを行う。